

# 平成28年度インターンシップ実習報告書

実習先: 鹿島建設株式会社

学籍番号: T161C001

学科学年: 環境創生理工学教育プログラム・修士1年

氏名: 明石孝太

## ■インターンシップへの参加目的

私は将来、より豊かな知識や経験を持つ土木技術者になりたいと考えている。そのため、土木構造物に携わる業務が多岐にわたる建設会社への就職を希望している。建設現場での仕事を肌で感じ、鹿島建設様の社員の方々から現場の魅力をお聞きすること、および鹿島建設様の理念や考え方がどのように業務に活かされているのか感じたい。その上で建設会社の仕事を理解し、学ぶことを目的とする。

## ■受入企業選定理由

昨年度、鹿島建設様の本学 OB から仕事内容についてお話をお聞きする機会があった。その際、鹿島建設様の理念と仕事内容について分かりやすく説明して頂いたこと。特に、仕事に対して誇りを持っていることが実感できたため、その様な方々と共に仕事がしたいと思ったから。

## ■得られた成果

- ・現場のイメージ・印象が実習の前後で変化した。
- ・コミュニケーション能力や判断能力、人を思いやる気持ちや安全第一の重要性など、教訓を得られた。
- ・私の目指す将来の土木技術者像を見つけることができた。
- ・これから始まる就職活動に対し、私が今すべきことは何か気づくことができた。

## ■実習を通じて感じたこと

- ・鹿島建設様の社員の方々は、仕事に熱意を持っており、向上心があること。
- ・安全確保は常に最重要項目であること、現場では上司や若手関係なく協力して助け合う姿勢の大切さ。
- ・現場には様々な人が働いており、適切な指示が出せるような判断能力が求められていること。
- ・土木工事を行うためには、幅広い知識と経験が必要だということ。また、相手への説明力の大切さ。

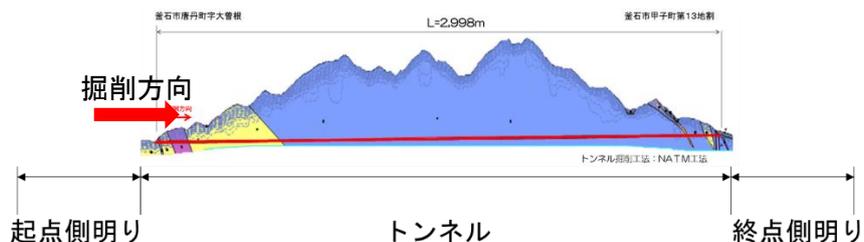
## ■後輩へのアドバイス

民間企業や公務員志望の学生はもちろん、進路で悩んでいる学生も、一度はインターンシップへ参加することをお勧めする。実際の現場や業務に携わることで、大学で学んでいる学習分野の立ち位置や理解が深まる良い機会である。実際に業務の一部を補助したり現場の最前線に立ったりすることは、普段の生活では経験することのできない貴重なチャンスである。

## ■最後に

鹿島建設株式会社様のインターンシップへ参加したことは、私に大きな影響を与えた。インターンシップに行く前から興味はあったが、実際に業務をこなしたり社員の方々とお話したりすることで、なお一層このゼネコンに就職したいと思えた。今後は就職活動に向けて、SPi やエントリーシートの対策をしていく。

## 具体的な実習内容を記入してください



### ○起点側明りにて

- ・重機、造成の説明 ・ICT 技術の説明 ・ドローンによる測量を見学
- ・法枠にてロックボルト挿入用の穴の削孔見学及び削孔後の見学
- ・TS 出来形測量(路体)にて、計測及び手元(ミラー)を担当 ・現場全体の確認同行

### ○トンネルにて

- ・覆工検査立会い見学 ・コンクリート品質検査 ・コンクリート充填用センサー(ジューテンダー)の取り付け
- ・打設最終確認立会い見学 ・岩検査見学 ・直線レーザーの位置調整
- ・(セトルにて)コンクリート打設前の確認 ・切羽建込確認及び測量、写真撮影
- ・路盤高及びセトルのレール位置決め(測量)

### ○終点側明りにて

- ・材料検収の立ち合い及び木材検収の補助 ・法面展開図より、鉄筋挿入工の数量確認
- ・ボックスカルバート用型枠のたわみ計算(せき板、セパレータ、横端太、縦端太)
- ・補強土壁下段床掘り丁張の設置補助 ・トータルステーションによる測量及び据付け
- ・丁張に掘削補助用の印をマーク

※その他、朝礼(毎日)や作業間連絡調整会議に出席・体験した。

### ○牧野次長の一日

- ・起点側明りにて法枠を見学 ・掘削残土のサンプリング(2 か所)
- ・唐丹第 3 トンネルを含め、三陸沿岸道路の各工事現場の概要説明および見学

### ○竹市副所長の一日

- ・トンネルの技術的説明(NATM 工法、発破、作業効率 etc.) ・新規で現場へ来た方の受け入れ立ち合い
- ・終点側明り現場安全パトロール ・夕礼

### ○新岡所長の一日

- ・起点側、終点側明り現場安全パトロール ・工事入札及び共通仕様書の説明
- ・長部高架橋現場見学(岩手県陸前高田市)